

Q78. 献腎による移植を希望しています。登録したいのですが、どの様にしたらいいでしょうか。また、移植を受けるためには、日常生活では、どんな事に注意すればいいのでしょうか。

A.

献腎移植を希望する場合には、自分の透析施設を通じて、臓器移植ネットワークに登録することが必要です。日本では、移植ネットワークが整備されており、全国で7つのブロックに分かれて情報が集められています。

移植を受けたい施設の外来を受診して、診察を受け、指定の申込書に氏名・住所・連絡先・移植希望施設・透析施設など記載します。血液型・HLA型・感染症検査・交叉試験用血清の採血があり、検査料は有料です。

登録には費用 30,000 円が必要です。1年ごとに更新手続きがあります。更新時にも手数料 5000 円が必要です。

西宮の場合は、兵庫医大・県立西宮病院で、登録することができます。

献腎移植は突然に連絡がきて、すぐに手術となります。そのため日頃から体調を整えておく必要があります。定期の透析を十分に受けて、血圧や体重・血液データの管理をきちんとすることです。水分管理が悪く、心不全があったり、栄養不良で血清蛋白が低いと良い状態で手術にのぞめません。

手術は全身麻酔なので、心臓に異常があれば難しいこととなります。副甲状腺機能亢進症で、身体のおちこちに異所性の石灰沈着が起こると、心臓の弁膜や全身の血管に病変が起こりますので、血清カルシウムとリンの管理が重要です。

移植後は強力な免疫抑制剤が使われます。ステロイド剤は、消化性潰瘍を起こしやすいので、胃潰瘍や十二指腸潰瘍がある場合は、完全に治しておかなければなりません。

免疫抑制すると、感染防御機能が低下しますので、日頃より虫歯は治しておく、風邪などひかないように注意をすることが大切です。

表 1 年次別腎移植件数

年次	献腎	脳死体腎	生体腎	合計
1998	149		510	659
1999	150	8	566	724
2000	139	7	600	746
2001	135	16	551	702
2002	112	10	634	756

表2 ブロック別腎移植件数(2002)

ブロック	移植件数	献 腎	脳死体腎	生体腎	献腎・脳死体腎の割合(%)
北海道	35	0	0	35	(0)
東北	57	4	1	52	(8.8)
関東甲信 越	303	41	4	258	(14.9)
東海・北陸	104	30	2	72	(30.8)
近畿	108	10	1	97	(10.2)
中国・四国	100	16	0	84	(16.0)
九州・沖縄	49	11	2	36	(26.5)
計	756	112	10	63	

看護師